

江戸川区

学校・園数

103校・園*

園児・児童・生徒数

49,017人*

地域の特徴

豊かな水や緑に囲まれ、区内に複数ある親水公園には、多くの老若男女が賑わう、活気ある地域である。共生社会の実現に向けて、障害者理解や多様性の尊重、異文化理解など様々な取組みを推進している。2021年には「SDGs 未来都市」に選定されている。

* 学校・園数及び園児・児童・生徒数は、令和3年5月1日時点

江戸川区のオリンピック・パラリンピック教育の取組事例

取組の効果

【オリンピック・パラリンピックコーナー】

- 全小・中学校・幼稚園に、オリンピック・パラリンピックについて子供が親しんだり、学んだりすることができるコーナーを設置

- オリンピック、パラリンピックについて、子供たちの興味・関心を高めるだけでなく、理解を深めることができた。
- 学校(園)の取組を訪問者に伝えるのに適した場所となった。

【競技の体験活動、アスリートとの交流】

- 本区で競技開催されるカヌー・スラロームをはじめ、パラリンピック競技であるボッチャなどを体験
- 「ホストタウン」であるオランダ王国のアスリートを学校に招待し、交流活動を実施

- 障害者理解を深めることができた。
- スポーツに対する関心を高めることができた。
- 外国のアスリートとの関わりを通して、異文化理解が深められた。

取組の様子



オリパラコーナー

大会に向けた機運醸成を図るために、競技や参加国に対する情報の掲載や体験コーナーを設置した。



カヌー・ボッチャ体験の様子

競技への理解を深めるために、講師を招き、説明と体験を同時に行うなど、創意工夫を凝らした体験活動を実施した。



パラアスリートとの交流

共生社会の礎を築くために、パラアスリートや大使館大使を招待し、一緒にスポーツをしたり、給食を食べたりした。